

令和5年3月の活動日記

3月2日（木曜日） 宝塚市 市民文化賞・市民スポーツ賞・すみれ賞 表彰式



中央公民館で令和4年度宝塚市 市民文化賞・市民スポーツ賞・すみれ賞 表彰式を開催しました。今年度は、市民文化賞・スポーツ賞・すみれ賞に7名と3団体の方が受賞されました。文化やスポーツの世界、地域美化活動などで活躍され、本市のまちづくりに多大な貢献をされた皆様に賞を贈呈し、感謝をお伝えしました。これからも皆様が、「住み続けたい、関わり続けたい、訪れてみたい」まちづくりを目指すとともに、皆様がいきいきと輝けるまちとなるよう本市としても全力で取り組んでまいります。

3月3日（金曜日） 宝塚市立看護専門学校卒業式



ソリオホールで開催された「宝塚市立看護専門学校令和4年度卒業証書授与式」に出席しました。本日、45名の学生の皆様が、3年間の勉学を終えて卒業されました。本年、卒業される皆様は、コロナ禍の中、これまでの卒業生が経験しなかった環境での勉学、実習でした。学生生活の中で経験した様々なご苦労は、これからの看護生活においてかけがえのないものです。皆様の今後のご活躍を心からお祈りいたします。

令和5年3月の活動日記

3月4日（土曜日） 西山まちづくり協議会 わいわいフェスティバル



西山小学校で行われた「西山まちづくり協議会 わいわいフェスティバル」に招待いただき、出席しました。4年ぶりの開催を心待ちにしていた子どもたちが大勢参加し、移動動物園で可愛い動物たちと触れ合っている姿を見ると、私も非常に嬉しかったです。丸太切りにも挑戦し、とても楽しい時間を過ごすことができました。

3月4日（土曜日） 令和4年度宝塚市手話言語講演会



中央公民館で「令和4年度宝塚市手話言語講演会」を開催しました。本市では、平成28年(2016年)2月に宝塚市手話言語条例を制定し、手話は独立した言語であると位置づけて、市民の皆様を対象に、手話を学ぶ講座などを開催してまいりました。今年度は、手話を第一言語としている、関西日本手話研究会代表の馬場博史さんをお迎えし、「手話への思い～手話は言語です～」と題した講演をお願いしました。本日の講演会や今月の手話月間を契機に、私たち一人ひとりができることについて考える、よい機会となればと考えております。

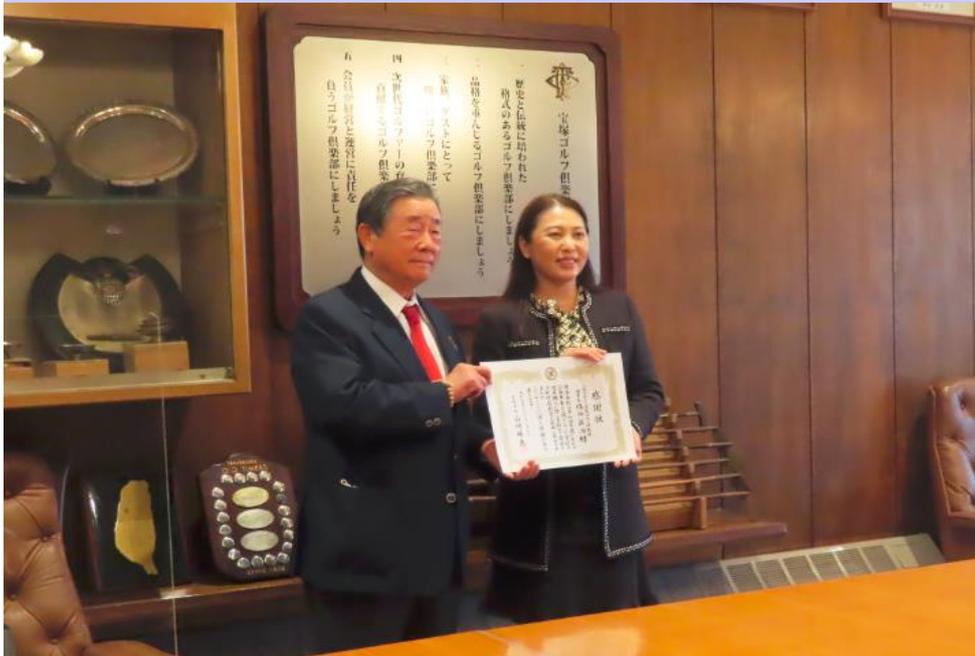
令和5年3月の活動日記

3月5日（日曜日） 国際ロータリー第2680地区地区大会



神戸ポートピアホテルで開催された「2022-23年度国際ロータリー第2680地区地区大会」に出席し、今回のホストクラブである宝塚ロータリークラブの地元市長として、お祝いのごあいさつを申し上げます。兵庫県内の各ロータリークラブでは、長年、青少年育成や教育支援、平和の推進や環境保護など社会貢献活動を積極的に展開され、宝塚市でも小学生野球大会や交換留学生の受け入れなど、様々な形でご支援、ご協力をいただいています。これからもより良い社会、文化を育む社会の実現に向けて更なるご活躍を期待しています。

3月7日（火曜日） 宝塚ゴルフ倶楽部 寄附目録收受及び感謝状贈呈



宝塚ゴルフ倶楽部を訪問し、体育振興を目的とした学校教育用備品整備に係る寄附目録を塩谷理事長から收受するとともに、私から感謝状を贈呈しました。

宝塚ゴルフ倶楽部からは、昭和60年以来38年間、毎年継続して本市に寄附をいただいております。幼稚園や小学校の遊具、サッカーゴールを始めとした体育用備品など、数多くの備品を購入させていただいております。

本年度いただいた寄附では、小学校で児童が遊ぶ登り棒やシーソー等を購入させていただきました。本当にありがとうございます。

令和5年3月の活動日記

3月11日（土曜日） 宝塚市総合防災課第二庁舎移設記念講演会



2011年3月11日に発生した東日本大震災から12年を迎えた本日、東日本大震災の教訓を皆様と共有し、未来の防災に生かしていくため、「気象予報と防災をつなぐ」と題した講演会を開催しました。

宝塚市第二庁舎が2月13日にオープンし、ここを防災拠点としてより迅速に災害の体制を敷くことができるようになりました。本日は、この第二庁舎にて、市民の皆様と一緒に今一度防災について考えるため、片平敦様をお呼びして講演会を企画できたことは大変意義のあることだと考えています。今後も防災の取組をより一層進めてまいります。

3月18日（土曜日） づか塾閉講式



プレミラボ塚で「づか塾」閉講式を開催しました。

「づか塾」とは、シニア世代の方々が楽しくこれからの人生を考え、宝塚市で様々な生きがいを見つけられるよう地域デビューを応援する講座です。

17期生の皆様はお若く元気で、ボランティア等を通して既に地域デビューを果たしており、づか塾を修了された後もきっとそれぞれの地域でお力を発揮いただけることと思っております。皆様のご活躍を期待しております。

令和5年3月の活動日記

3月24日（金曜日） 芸術文化観光専門職大学と包括連携協定を締結



芸術文化観光専門職大学の学長は、本市の政策アドバイザーである平田オリザ様であり、劇作家・演出家である平田様が、コミュニケーションや演劇について講義をされています。当大学では、但馬地域を中心に学生が地域の課題解決に取り組まれており、地域の発展にご尽力されています。

芸術文化観光専門職大学のノウハウを生かし、「宝塚の芸術文化や地域資源を生かしたまちづくり」「次代を担う人材の育成」など、さまざまな分野について連携して取り組むことで、宝塚市の魅力的なまちづくりにつながることを期待しています。この度の協定により、多くの分野において連携協力を促進し、地域の一層の活性化と市民サービスの向上を図ってまいります。

3月25日（土曜日） たからっ子総合相談センター「あのね」オープン記念



本年2月13日にオープンした、たからっ子総合相談センター「あのね」を市民の皆様幅広く知っていただけるよう、記念講演を開催しました。

「あのね」では、子どもに対する切れ目のない支援を行うために様々な分野の相談を広く受け、関係機関と連携して支援を行います。中でも、子どもの発達に関して、週1回、医師相談の機会を設け、専門的なアドバイスを行っています。本日は、医師相談にご協力いただいている小児科医の石原 剛広(いしはら たけひろ)様に「軽度の発達特性をもつ子どもたちの理解」についての講演をいただきました。

「あのね」が、悩んだときにいつでも安心してご利用いただけるセンターとなるよう、取組を進めてまいります。